

しょうりょうだな かぎ かた 精霊棚の飾り方



みそはぎ



蓮の葉の上にさいの目に切ったナスとキュウリ、洗米をのせ、ここにみそはぎで水を振りかけ、煩惱をとり除きます。



⑤ 水の子



④ 溝萩
別名=盆花

出典：日蓮宗

- ① ぼおずき・笹竹
ご先祖様の道案内になるよう灯明のかわりにぼおずきを吊るします。笹竹に張られた縄から内は、「この中にご先祖様が来られる」という結果を表します。2本、または4本で聖域を囲みます。
- ② お供物
精霊棚には、果物や野菜をお供えます。そのほかにも故人やご先祖様の好きだった物や旬の食物などをお供えし、心を込めてご先祖様をお迎えしましょう。
- ③ 真菰
壇には荒おしろ、真菰などを敷き、その上に位牌、供物等を供えます。

- ④ 蓮の葉(灑水盤)と溝萩
蓮の葉に入れた水をみそはぎに含ませて、⑤の「水の子」に水のしずくを振りかけます。これは、煩惱を鎮めるためだと言われています。
- ⑤ 水の子
ナスやキュウリをさいの目に切ったものと洗米を混ぜ、蓮の葉の上に盛りつけています。④の蓮の葉とみそはぎと同じように、煩惱を鎮めるためのお供え物です。
- ⑥ キュウリの馬とナスの牛
キュウリの馬は、ご先祖様が少しでも早く帰って来て頂くために、ナスの牛は、ゆっくりお戻り頂くためにお供えます。※わらなどで作った馬と牛は生花店で売っています。

お盆には、我が家で供養を受けるためにご先祖様が里帰りをします。心を込めて精霊棚(ご先祖様が供養を受けられる場所)を作りましますが、一般的なものを紹介します。